

国分寺学 授業実践モデル 第1学年

1 単元名

「国分寺調査」(全22時間扱い)

2 単元の目標

- (1) 自分たちが暮らす国分寺について理解を深め、地域を誇れる気持ちを育てるとともに、共に住む人々や地域の文化を大切にする心情を育てる。
- (2) 調べ学習や事後学習を通して、人への情報の伝え方を身に付ける。
- (3) 集団の一員として、集団行動の必要性を学ぶ。また、2年次の遠隔地校外学習、3年次の修学旅行につなげる。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

【課】課題解決力	【コ】コミュニケーション力 協働力	【社】社会参画力
・自らの興味関心に応じて調べ、探求していくことを通じ、自ら課題を見つけ改善に向けた具体策を考えることができる。	・課題の解決に向けて、多様な考えや提案に触れ、他者と協働し、積極的で具体的な意見を創出することができる。	・実際に地域に出て、地域の魅力や現状の課題を確認し、他者への情報発信や関係機関に向けた提言など、自ら社会に参画することができる。

4 単元の指導計画と評価計画(全22時間)

時	学習過程	◆目標 ○学習内容	単元で育成を目指す 資質・能力			地域資源との関連
			【課】	【コ】	【社】	
1 ～ 3	課題設定	◆自分が住んでいる地域に関する話を聞き、他者と協力してテーマ設定を行うことができる。 ○東京経済大学『国分寺物語』ゼミ生の話を聞く。 ○班毎の調べ学習におけるテーマ設定を行う。	○	○		①
4 ～ 15	情報収集	◆設定したテーマに関して、様々な方法を活用して情報を収集することができる。 ○調べ学習や実地調査を行う。		○		※②
16 ～ 19	整理・分析	◆食、福祉といった領域毎に、魅力的な点や課題点について整理し、自分の考えを述べることができる。 ○テーマに基づいて調べた内容を、動画やプレゼンテーションソフトを活用して整理する。		○		
20 ～ 22	発信・実行	◆発表を通して、国分寺の魅力や地域発展について考えを深めることができる。 ○班毎に作成した資料を基に発表を行う。また、それをパンフレット形式にまとめ、冊子を作成する。		○	○	※②

その他（教科等横断的な取組、関連単元や教科 等）

- ・大地の変化・地形や地層、岩石の観察(理科)
- ・古代国家の歩みと東アジアの世界（社会・歴史）
- ・世界の姿（社会・地理）
- ・技術分野授業ガイダンス（技術科）
- ・家庭分野授業ガイダンス（家庭科）
- ・中学生に必要な栄養(家庭科)
- ・野菜：「いも」の調理(家庭科)
- ・校歌紹介（音楽）
- ・Lesson6 Reading for Information （英語）
- ・環境学習（総合）
- ・郷土の伝統文化の尊重（道徳）
- ・避難訓練（安全教育）
- ・地域の安心・安全を考える会（行事）
- ・東京経済大学との協力（学習支援、補習授業）

※特別支援学級の生徒については、グループ発表ではなく、個別の発表形式とする等の対応をしている。

5 本時（全 22 時間中の第 15 時）

（1）本時の目標

- ・発表（プレゼンテーション）のポイントを理解することができる。
- ・より良い発表に向けて、班員と作業を分担・協力し、発表に向けた準備を行うことができる。

（2）本時の展開

	時間	○学習内容 ・予想される生徒の反応	・指導上の留意点 配慮事項	評価規準 【】 関連する資質・能力
導入	5 分	○学習のめあてと流れを説明する。	・本時の学習のめあてと流れを示す。	
展開	40 分	○発表（プレゼンテーション）におけるポイントについて説明する。 ○各発表資料の担当を分担する。 ○資料作成等、発表準備を行う。	・ただ発表を行うのではなく、「伝わる」発表を行うために、声の大きさや資料提示の仕方に関するポイントを説明する。 ・全員が必ず分担を受け持つように指導する。発表が得意な生徒に役割が隔たることのないようにする。 ・発表のポイントを説明したとしても、生徒たちは、発表の際に提示する資料の情報量が多くなりがちである。提示する資料の情報量は精選するように声をかける。（何を提示して、何を話すのか） ・支援が必要な生徒については、適切な支援を行う。	☆発表資料を責任をもって担当している。【コ】 ☆ポイントを理解して、発表資料を作成している。【コ】
まとめ	5 分	○本時のふり返りを行う。 ○今後の予定を確認する。	・発表におけるポイントを全体で確認する。 ・個人及びグループの進捗状況を確認させる。 ・各グループが見通しをもって主体的に活動を進めることができるように発表までの具体的な時数や取り組み内容を伝える。	

6 地域にある様々な資源と活用することで期待される効果
 （人材，協力者，公共機関，民間企業，施設，団体 等）

番号	人材，協力者，公共機関， 民間企業，施設，団体 等	活用することで期待される効果
①	東京経済大学『国分寺物語』ゼミ HP アドレス https://kokubunjimonogatari.com	国分寺について良く知る方々から話を聞くことで、 普段住んでいる地域の魅力の再発見につながる。
※②	地域の施設等… 7 成果物・資料（4）参照	生徒たちが住んでいる地域の方々に調査活動等で協 力していただくことで、より地域を身近に感じるこ とができる。